

(学校用)

様式 A-1

平成 24年 7月 13日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 熊本県立第二高等学校・森木陽子
2. 講師氏名: Roman Georgievich PAVELKO
3. 同行者氏名: 島ノ江 憲剛
4. 実施日時: 平成 24年 7月 9日 (月) 13:45~15:35
5. 参加生徒: 2年生 40人、 1年生 0人、 0年生 0人 (合計 40人)
備考: 理数科の生徒
6. 講演題目: (英文) Gas sensors—a “melting” point for chemistry, physics and biology
(和文) ガスセンサー —化学・物理学・生物学のための「融点」—
7. 講演概要: 母国ロシアやスペイン、ドイツ、日本での研究生活の様子の紹介と、ガスセンサーの種類や用途、構造、開発の歴史と現在の課題について。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 100 分 質疑応答時間 10 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演、顕微鏡を使った観察
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
同行者によるサポート
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
講師作成の概要およびキーワードリスト
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: